

会 議 録

会議の名称	第 1 回 東由利地域協議会
開催日時	平成 2 2 年 6 月 1 5 日（火）午後 2 時
開催場所	黄桜温泉「湯楽里」
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	渡辺幹夫、石綿喜代隆、高橋京子、佐野陽子
【会議次第】 1 . 開 会 2 . 新任委員委嘱状交付 3 . 会長挨拶 4 . 市長挨拶 5 . 協 議 ・上下水道の料金改定について ・平成 2 2 年度東由利地域主な事業について ・地域づくり推進事業について ・「過疎地域自立促進市町村計画」について 6 . そ の 他 7 . 閉 会	
会議の経過	別紙のとおり

出席者名簿

(地域協議会委員 16名)

役職名	氏 名	備 考
会 長	長谷山 博 昭	
副 会 長	小 松 佳 和	
	小 松 彪	
	伊 東 文 雄	
	鈴 木 博	
	畠 山 与 一	
	小 松 正 武	
	小 松 由 子	
	阿 部 タツ子	
	遠 藤 忠 平	
	大日向 与志子	
	小 松 耕之助	
	長谷山 光	
	畑 山 敏 男	
	佐々木 雅 廣	
	千 葉 覚	

市 長	長谷部 誠	
企画調整部長	小 松 慶 悦	
企画調整部次長 兼企画調整課長	石 川 裕	
地域振興課長	榊 豊 昭	
建設部長	熊 谷 幸 美	
上下水道課長	木 内 正 勝	
ガス水道局管理課長	原 田 正 男	
上下水道課主席参事 兼課長補佐	保 科 政 幸	
上下水道課主席主査	小 松 等	
総 合 支 所 長	工 藤 良	
主幹兼振興課長	佐 藤 順 一	
市民福祉課長	嶽 石 文 弥	
主幹兼産業課長	小 番 直 義	
産 業 課 参 事 兼 課 長 補 佐	小 野 長 清	

建設課長	柴田和尋	
主幹兼東光苑施設長	佐々木喜隆	
教育学習課長	高橋裕子	
事務局	小野信子 菊地勝 小助川洋	

会議の経過

第 1 回 東由利地域協議会

と き 平成 22 年 6 月 15 日（火）

午後 2 時～ 4 時

ところ 黄桜温泉「湯楽里」

1．開会（午後 2 時）

2．新任委員委嘱状交付

3．会長挨拶

本日は平成 22 年度第 1 回目の協議会である。公務多忙の折、市長の臨席を頂きありがたい。また、市当局の皆様からお話を伺う機会があることにも、感謝したい。

ただ今、市長が新しい委員 3 名に委嘱状を交付し、新任の委員を交えた初めての協議会となる。任期まで、数多くの協議会があるが、忌憚のないご意見等をお願いしたい。

さて、日曜日に、昨年度地域協議会で検討した地域づくり推進事業の一つ、新緑さなぶり祭りを実施したところである。その際に市長にも来て頂いた。このことについても感謝を申し上げる。さなぶり祭りの開催にあたっては、総合支所の関係部署から協力も得たことにも感謝したい。主催は芸術文化協会である。従って、芸術文化協会加盟のサークルの皆さんのご協力も得ながら実施した。メインとして、二代目藤丸東風さんをお迎えした。このさなぶり祭りについては、後ほど協議会の中でも私から少し触れさせて顶きたい。

本日の会議は、資料等にもある通り、私たちの生活、身の回りにとって関心の高いものである。市当局からの説明をした後で、委員の皆様からもお聞きしたいことがあれば、遠慮無くご発言をお願いしたい。

また、地域協議会についてどういうものか、という質問が地域の方から寄せられている。できたら、今回の協議会の内容についても、委員の皆さんは、団体や地域の代表の方々なので、地域でお話ししていただきたい。

時間に制約があるが、委員の皆さんには様々なご意見をいただきながら進めて参りたいので、どうぞよろしくお願いします。

4．市長挨拶

本日は大変お忙しいところご出席をいただき、誠にありがたい。地域協

議会の皆さんには、常日頃、市政の推進について多大なご理解とご協力をいただいていることに対して、厚く御礼申し上げたい。先ほど長谷山会長からの挨拶にあったとおり、地域協議会の委員の皆さんは地域のリーダーである。地域の活性化のために、今後ともよろしくお願い申し上げたい。

さて、市長就任２年目となり、私にとり、今回初めての予算編成、人事異動、機構改革を行って平成２２年度をスタートした。特に一般会計予算として４７３億８千万円となり、前年度より３５億４千万円の増、８．１％の増額となった。６月議会は６月１７日で最終日だが、原案通り可決すると、補正後の予算はおよそ４７９億円になる。様々な課題が山積しているが、この予算編成に則り、事業を進めて参りたい。特に、今年度の新規事業としては地域づくり推進事業として各地域に３００万円を配分したので、いろいろと知恵を絞って頂いて地域の活性化に役立つよう使っただきたい。先日開催されたさなぶり祭りに、私も出席をしたが、大変盛り上がったし、ゆっくりとくつろげて（来場者には）リフレッシュしていただいたのではないかなと思う。

私の政治姿勢として、すでに申し上げているとおり、地域の生の声を聞いて市政に反映させるというのが、私の基本方針である。従って、今まで行政の目が周辺部に届いていないという声をよく聞いたが、そういう意味で地域全体の均衡ある発展を目指して取り組んで参りたい。特に、この東由利地域にも気配り、目配りをしながら、１市７町が合併した大変大きな面積を有する由利本荘市なので、全体がバランスのとれた発展をするよう目指したいと考えている。そういう意味では、地域協議会の委員の皆さんのご意見は、非常に貴重なご意見となるので、私も十分拝聴して参り市政運営に展開して参りたいと考えている。今回第１回の協議会では、東由利の主要事業や上下水道料金の統一に向けての説明もあるので、よろしくお願い申し上げて一言挨拶に代えさせていただく。どうぞよろしくお願いします。

５．案件

・上下水道の料金改定について

熊谷建設部長	大事な時間を頂いて感謝申し上げます。今、２０分ほどの時間を頂いて説明をするが、ここで全ての説明はできないため、細かな点はその都度、市に連絡いただきたい。 合併した段階で料金統一について上水道、簡易水道について
--------	---

	は3年を目処に、下水道は5年、平成23年度を目処にと合併協議会で決定した経緯がある。しかし、これまで統一ができなかったというのは、あまりにも料金体系に差があって難しかった。今回、たまたま上水道の料金改定があったためそれに合わせて、上水道と簡易水道の統一に持って行きたいとしているところである。
原田ガス水道局管理課長	(資料「水道料金改定(統合)について」により上水道について説明)
小松等上下水道課主席主査	(資料「上下水道課・地域協議会説明資料について」により、簡易水道、集落排水について説明)
議長	ご理解はいかがか。時間もなく説明が短いことはやむを得ない。ポイントとしては水道と下水道について平成25年度に統一ということかと思う。ご質問は。
熊谷建設部長	ご不明な点があれば、総合支所でも説明会を設定する。
A委員	料金は安くなるということか。
柴田建設課長	そういうことである。
B委員	4人家族でどのくらい安くなるもの例示をして欲しい。
柴田建設課長	例えば、現在水道料金が4,000円かかっている世帯では、3,200円程度に、下水道で3,600円かかっている世帯で2,600円程度に下がると見込まれる。4人家族で、という例示は困難。
工藤 総合支所長	資料8をご覧頂ければわかりやすい。

・平成22年度東由利地域主な事業について

工藤 総合支所長	(資料1「平成22年度由利本荘市一般会計当初予算と東由利地域の概要」について説明)
-------------	---

各課長	（資料２「平成２２年度当初予算にかかる東由利地域の主な事業」について、各課毎に説明）
-----	--

・地域づくり推進事業について

小野 産業課参事	（資料３「地域づくり推進事業・進捗状況一覧」のうち、グリーン・ツーリズム研究会、観光協会、産業課主催事業の説明）
-------------	--

議長	（資料３「地域づくり推進事業・進捗状況一覧」のうち、芸術文化協会主催事業の説明） 主催団体代表として説明
----	---

佐藤振興課長	（資料３「地域づくり推進事業・進捗状況一覧」のうち、振興課主催事業の説明）
--------	---------------------------------------

議長	何かあれば、次第の「その他」でご意見をお願いしたい。
----	----------------------------

・「過疎地域自立促進市町村計画」について

石川 企画調整課長	（資料「過疎地域自立促進市町村計画」について、説明）
--------------	----------------------------

Ａ委員	１１月末まで出して欲しいというのは地域協議会として提案すればいいのか。
-----	-------------------------------------

石川 企画調整課長	資料の２ページ、大項目４番に、「住民意見の反映」ということがあり、皆さんから色々ご意見等をいただきたいということである。そして、１１月末ということについては、この計画は非常に時間がない中で７月中旬から下旬に県に計画を出さなくてはならないというスケジュールになっている。それまで、地域住民の方々の要望を伺いながら、計画に取り入れるのは非常に厳しく、今回、１１月末としたのは、２３年度予算に反映させることを考えている。平成２２年度については、すでに年度が始まっているので庁内で計画した事業や、現在市で計画している定住自立圏事業に充当したところである。
--------------	---

	ソフト事業について、簡単に説明させていただきたい。住民の日常的な移動のための交通手段の確保、いわゆる路線バス等
--	---

が廃止された場合の公共交通代替手段、それから、集落の維持活性化につながるような事業が示されている。そして、資料 1 ページの 1 番にあるが、医師確保のための奨学金制度について、学校を卒業後医師になって、由利本荘市に戻ってきて、例えば 5 年や 10 年程度勤めたら返済義務はなくなるという案も国から示されている。これから情報が入り次第、地域協議会の方々にもお示ししたいと考えているので、よろしくお願いしたい。

議長

一気に東由利地域の主な事業から地域づくり推進事業、それから過疎地域について、説明をしていただいたが、何か質問があればご発言頂きたい。

一気に説明されて、余裕のない協議会であり、あまりにも今回盛りだくさんの案件であるが、次回の協議会はぜひ余裕を持った協議会にしていいただきたい。

C 委員

今の過疎計画（の説明）について、過疎債は 7 割は交付税という説明をされたが、3 割はどういう扱いになるのか。27 年度までの計画について、議会と地域協議会の意見集約ということが記載されているが、今度どのような進め方を持って実施していくのか。

石川

企画調整課長

過疎債について、その事業費の 7 割が交付税という形で返ってくる。残りの 3 割りは一般財源となる。非常に有利だが借金には違いない。先ほど、今年度の予算の時の説明の中でも、市の借金の部分について話したが、市としては、新規事業にこの過疎債を使うと言うことはもちろん考えているが、新規事業だけではなく既存の現在進んでいる事業の中でも、この過疎債を使うことによって市の負担が少なくなると言うこともあるので、それら既存事業への過疎債の充当と言うことも考えており、ご理解頂きたい。

27 年度までと言ったが、当然毎年見直しは行うが、計画書については変更する場合は議会の議決が必要となる。今年度作る計画書については、できるだけ、あまり細かな部分まで入った計画書ではなく、ある程度応用の利くものにし、例えばこの後地域協議会からアイデアやご意見が出た時に、それぞれの事業の計画を変更せずに組み入れていけるようなことを工夫し

て、計画を作っていきたいと考えている。

C 委員

下水道関係の料金改定の説明について、今後、料金説明には地区ごとに説明が必要ではないか。

また、地域協議会の時間設定について、今後3回あるのだろうが、もう少しゆとりある協議会となるよう時間調整をしていただきたいと強く要望する。

柴田建設課長

各地区に出向きたい。また、本庁も時間があれば回って説明する。しかし、本庁では本荘地域の料金改定の変動が激しいために、本庁が他地域に出て説明することができなくなるので、各町内会ごとに説明をという話もあるので。説明する場を組んでいただければ、私ども（総合支所）で説明するので、よろしくをお願いしたい。

議長

（C委員の質問の）2番目にあった、ゆとりある協議会についてだが、次回以降は委員の皆さんからお話を伺えるよう、ゆとりをもった時間設定を振興課と協議していきたい。何卒よろしくご了承をお願いしたい。

D 委員

今回の協議会、色々と参考となったが、1つ、財源に関するお話しも出ているのだが、由利本荘市の今後の人口の推移はどう予測されているのか。

小松企画調整
部長

由利本荘市の人口の推移について、現在の住民基本台帳の人口は8万7千人で、由利本荘市だけでなく、県内市町村は減少傾向にある。約10年後、平成32年に7万6千人を目標とした。人口問題研究所で推計を出しているが、今、手元に資料を持ち合わせていない（ため、正確には申し上げられない）。

長谷部市長

約10年後に7万6千をめどにしたい、目標としたいということにした。人口の減少を最小限に抑えるためには今後何が必要かということを検討中である。

6．その他（質疑応答）

E 委員

案件について事前通知に記載がなかったが。

佐藤振興課長 申し訳ありません。下水道の説明については昨日追加になったため、事前に皆さんに通知することができなかった。今後はそういう風に前もって皆さんに通知したい。

議長 また、E委員の質問にもあったが、できれば資料の事前送付があればいいというお話もあり、出来る範囲でやって参りたい。

榊地域振興課長 地域づくり推進事業について、市全体の状況について、また、今後の見通しについて、少しお話しをさせていただきたい。

市全体では92の事業があり、その中で、今3分の1ほどが進んでいる。2400万円の予算で、総事業費5000万円くらいの事業が進んでいる。先ほど担当の課長から説明のあったとおり、東由利地域の場合、今年度8つの事業が行われるわけだが、総合支所が主体の事業が多いように感じられた。今後は市民団体が主体となっていって欲しい。それを地域協議会の皆さんがくみ上げる形でやっていただくようお願いしたい。

また、一番大事な点が、広く市民の皆さんに周知して、その地域づくりに意欲のあるような皆さん、または団体の方々の要望や提案をくみ上げるために、これを工夫していかなければならないと思っている。このために、地域協議会の皆さんには、地域協議会の皆さんの提案のみならず、地域の皆さんのご意見をくみ上げる方法を検討していかなければならないと思っているところである。募集の方法等について、これから地域協議会の皆さんに相談したいので、その際はよろしくお願いしたい。

副会長挨拶

もっと話す時間があればということもあるが、この後の懇親会の場合もあるので、そちらでもじっくりとお話したい。自治意識というか、自分たちの地域は自分たちでやっていくんだ、という時代に入ってきたと実感している。今後、皆さんのご意見で由利本荘市・東由利地域が活性化できるような、そういう会にしていければいい。どうもご苦労様でした。

7. 閉会（午後4時）